

9月定例記者会見の概要

- 1 日 時 令和7年8月26日(火) 16時00分～17時00分
- 2 場 所 本庁舎2階 正庁
- 3 出席者 <報道機関>
 - 河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
 - 朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
 - 読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
 - 福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)
 - 福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
 - NHK 南相馬通信室(南相馬記者クラブ会員)

計 6 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長
- ・鹿島区役所長・復興企画部長
- ・復興企画部政策担当理事・市民生活部長
- ・健康福祉部長・こども未来部長
- ・商工観光部企業立地担当理事・農林水産部長
- ・農林水産部政策担当理事・建設部長
- ・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行)秘書課長

(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、福島スペースカンファレンスについてです。

8月8日、一般社団法人宇宙産業連携機構と市は、「福島スペースカンファレンス2025」を開催いたしました。

今年で第3回となりますが今年は438人に参加いただき、まさに東北最大級のイベントとなりました。また、トークセッション終了後の交流会には200人以上に参加いただきました。毎年参加いただく人数が増えている状況で、驚いています。今後もさまざまな挑戦が南相馬で行われる予定となっており、今後の展開を楽しみにしております。

次に、大相撲南相馬場所における南相馬市産きゅうりの贈呈式についてです。

8月8日に開催された「令和7年夏巡業 大相撲南相馬場所」において、日本相撲協会の皆様へ、南相馬市産きゅうり1,000本を贈呈しました。贈呈したきゅうりはJAふくしま未来様にご提供いただきました。

当日はその一部を氷で冷やして、南相馬市産の味噌と一緒に力士の皆さんに振る舞いました。若元春関にもその場で食べていただきました。

次に、夏のイベントについてです。

今年も市内各所で夏のイベントが開催されました。

8月9日は、原町区で、原町商工会議所青年部主催による「北泉サマーフェスティバル2025 THE BEACH」、8月10日は、鹿島区で、実行委員会主催による「かしまのなつまつり」、8月16日に、小高区で小高商工会主催による「おだか夏まつり」がそれぞれ開催されました。

また、市内各地区でも夏のイベントが行われ、市で把握している一例をご紹介しますと、

- ・小高区の五区、片草、角間沢の3行政区および6行政区合同の桃内地区
- ・鹿島区の浮田、塩崎の2行政区
- ・原町区の橋本町二、深野、北萱浜、北町一、北長野の5行政区および8行政区合同のひがし地区

でそれぞれ夏祭りや盆踊りなどが開催され、子ども達が大勢参加しておりました。ふるさと南相馬の良さを感じることができる夏の思い出づくりの機会を設けていただいたことに感謝しています。

次に、北泉海水浴場についてです。

市では、北泉海水浴場を7月19日から8月24日まで37日間開設しました。今年は天気に恵まれ、計2万4409人の皆様にご利用いただきました。

続いて今後の主な話題について申し上げます。

はじめに、市議会定例会についてです。

9月3日から開会となる第4回市議会定例会に提出する案件は、議案30件、報告3件の計33件を予定しています。

詳細はのちほど総務部長より説明します。

次に、中学生海外研修報告会についてです。

本年8月に市内の中学2年生11人が、オーストラリア海外研修に行っていました。その報告会を9月20日にサンライフ南相馬で開催いたします。

参加した学生たちが文化交流を通じて知った新たな体験や気づきを直接聞くことができる機会です。ぜひ会場にお越しください。

次回のシンガポール研修は令和8年3月24日から28日までの3泊5日、現地企業の訪問や現地の学生との交流を行う予定です。こちらは9月初旬から募集を開始します。

また、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市への高校生6人の派遣団は、すべての日程を終え8月20日に無事、帰国いたしました。10月19日に市民情報交流センターで報告会を開催する予定です。

次に、ロボテスフェスタとワールドロボットサミットについてです。

9月27日に、福島ロボットテストフィールドにおいて、イノベ機構と市が共催で、ロボテスフェスタ2025を開催します。

見て触れて、最先端技術を体験できるドローン&ロボット展示会や、普段は入ることができない実証実験のエリアを見学できるバスツアーなどを予定しています。当日は世界のグルメが堪能できるコーナーも設けます。

ロボットの最先端技術を体感できるイベントに、ぜひご家族や友人と一緒にお願いします。

また、10月10日から12日までの3日間、福島ロボットテストフィールドで、「ワールドロボットサミット2025」が開催されます。

このイベントはF-REIの主催、経済産業省の共催で、本市からは、地元企業から構成される「南相馬ロボット産業協議会」の2つのチームが、過酷環境ドローンチャレンジ、プラント災害チャレンジへ参加します。

2024年に開催されたプレ大会では、南相馬ロボット産業協議会と会津大学の合同チーム「MISORA+UoA」が、プラント災害チャレンジ部門で2位という成績を修めました。

今回も、優勝を目指して入念な準備と調整を進めていると聞いています。これまでの努力が実を結び、大会で輝かしい成果が得られることを願っています。

次に、市内の敬老会についてです。

9月13日に小高区敬老会、9月15日に鹿島区敬老会、9月27日に原町区敬老会が開催されます。

対象となる75歳以上の方は1万2533人です。市内では現在、100歳以上の方が男性7人、女性59人の計66人、その中で最高齢は男性が小高区の方、女性が原町区の方でともに105歳となっています。

敬老会当日のアトラクションとして、各地域で活動されています団体による民謡や舞踊の披露を予定していますのでお楽しみください。

次に、野馬追の里健康マラソン大会・ウオーキング大会についてです。

12月7日に、第38回野馬追の里健康マラソン大会・第20回ウオーキング大会を開催いたします。現在参加者を募集中で、エントリーの受け付けは9月15日までとなっています。

大会当日、参加者の中から抽選で100名様に地元産品を贈呈するほか、毎年好評いただいている豚汁の振る舞いも予定しています。ウオーキング大会は、3キロ、5キロ、10キロのコースを準備していますので、体力に自信がない方も楽しく歩くことができます。

小中学生・高校生はマラソン大会、ウオーキング大会ともに参加無料となっています。健康増進のため、ぜひご参加ください。

【質疑応答】

質問 1 :

9月補正の「未利用財産利活用推進事業」(主要事業説明書15ページ)について、令和7年度に審査する2施設を教えてください。審査委員会が個々の施設について奨励措置などを決定するのでしょうか。

回答 1 : 市長

2施設は、鹿島区の八沢小学校と八沢幼稚園です。

回答 1 : 総務部長

鹿島区の八沢小学校と八沢幼稚園は市が保有する未利用財産の中でも比較的新しい施設ですので、活用しやすいと考えています。公募があった事業者を審査会で審査し、条例に定めた支援を行う予定です。予算は施設の規模に応じて計上する予定です。

質問 2 :

未利用財産を利活用するための支援策は、今回が初めてでしょうか。また、このような制度を作った目的を教えてください。

回答 2 : 市長

普通財産の貸付・譲渡は条例で定められたルールに基づき進めていますが、民間企業等に貸付・譲渡する場合は一定の費用を頂く必要がありました。そのような中で未利用財産、特に廃校になった小学校を活用いただく上で費用面などでハードルがあることが分かったことから、今回、条例を制定するものです。

回答 2 : 総務部長

本市ではこのような支援策は初めてです。県内や全国では既に同様の支援策を講じているところがあります。

質問 3 :

南相馬市未利用公共施設等利活用促進条例では、建物を取り壊して新たに施設を建てることも可能でしょうか。

回答 3 : 市長

さまざまなケースに対応できるよう考えています。

質問 3 :

市議会定例会の議案第92号 未利用財産の利活用について、他にも廃校や旧小高商業高校跡地などがありますが、全てこの条例に基づいて判断する考えでしょうか。

回答 3 : 市長

利活用を進める候補の施設は他にもありますが、基本的に全ての施設を対象とする考えです。

質問 4 :

政府が閣僚会議で、県内の除染で出た土などの最終処分について、県外最終処分の実現に向けたロードマップを示しました。このことに対する受け止めに教えてください。

ださい。

回答 4：市長

詳細はまだ把握できておりませんが、全国での再利用を検討いただくことは必要であると考えています。

先日行われた県市長会では、首都圏での利用を優先的に検討するよう、国に要望する方針を決めており、広い地域で除染で出た土などの再利用を図ってほしいと考えています。

質問 5：

政府が示した除染土の最終処分に向けた行程表は、有識者会議を立ち上げることも含まれています。有識者に検討してほしいと考えていることはありますか。

回答 5：市長

どのような有識者による会議か把握できておりませんが、再利用に不安を感じている方へどのように説明をしていくかなどの検討を進めていただくものと期待しています。

質問 6：

南相馬市で除染で出た土の再利用を進めていくか、現時点の考えを教えてください。

回答 6：市長

以前お答えした状況と変わらず、国や県から具体的な活用に関する要請等は、現時点ではありません。企業等からも使いたいという話は寄せられておりません。

質問 6：

9月補正の「道路維持管理事業（各区）に係る予算措置の状況」（予算主要事業説明書の参考資料）について、具体的な修繕内容を教えてください。

回答 6：市長

主なものは、舗装が壊れたり凹凸があったりする市道の修繕です。これまで多くの要望を頂き、補正予算で対応してまいりましたが、今回の補正で現時点で市が把握している全ての要望にお応えできることとなりました。

回答 6：建設部長

行政区長からの要望やパトロール、個人の通報などを受けて修繕する必要がある箇所を、今回の補正予算で整備を行います。

質問 6：

市長として任期が満了するまで、どのように市政運営を進める予定でしょうか。また、任期満了後について考えをお聞かせください。

回答 6：市長

残された任期で、公約や計画に掲げたものを一つ一つ行っていきたいと考えています。

以上